



# 芽室町コミュニティ・スクール（CS）通信

平成31年 4月26日

かなえよう

No.1

芽室町教育委員会

## 子供と地域をつなぐCS・やって良かったCS・一緒にできる喜びを味わうCSに！

コミュニティ・スクール（CS）は、学校運営協議会を設置した学校であり、学校と保護者や地域住民が共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させるなど、「熟議」と「協働」により子供たちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教行法第47条の6）に基づいた仕組みです。

芽室町では、これを踏まえ「学校を核とした地域づくり」を目指し、「郷育・夢育コミュニティ『地域学校協働本部』」が中心となり、学校と地域がパートナーとして連携・協働して様々な活動を行う「地域学校協働活動」をコーディネートしながら推進していきます。本町の教育理念「心豊かで次代に輝く芽室の人を育む」の実現等に向けて、学校と地域が「車の両輪」となり、地域総がかりで子供たちの豊かな成長を支えるよう、町民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

### 芽室町コミュニティ・スクールの目指す姿



### <芽室町CSアクション>

#### ★学校では…

- 1 学校運営方針を達成するため、社会に開かれた教育課程を基軸に、地域との熟議と協働のマネジメントを進めます。
- 2 「教え」から「学び」へ、地域とつながる「郷育・夢育」の視点を大切にします。

#### ★地域では…

- 1 「本物」との出会いを演出します。
- 2 「支援」から「連携・協働」、「個別」から「ネットワーク」への転換を図ります。

### <CS推進のキーワード>・・・「郷育」と「夢育」

学校、家庭、地域の連携・協働による「共育」を基盤に、ふるさとへの誇りと愛着心を育む「郷育」、夢や目標に挑戦する心を育む「夢育」をキーワードにします。

### <地域とともにある学校運営に必要な3つの機能>

- ① 「熟議」～目指す子供像などの目標やビジョンを学校と地域が共有すること。
- ② 「協働」～学校と地域が役割分担しながら活動すること。
- ③ 「マネジメント」～校長を中心に人をつなぎ、学校の組織力を高めていくこと。

### <郷育・夢育コミュニティ『地域学校協働本部』の機能> 学校の応援団

- ① 地域人材を学校へつなぐコーディネート機能
- ② 多様な支援活動（より多くの地域住民の参画）
- ③ 継続的な活動（地域学校協働活動の継続的・安定的な実施）

